

Continue

YUTACOLOGY'S communication press

vol. **27**
2023 SPRING



ユタコロジーが
積み上げてきたもの

巻頭メッセージ

ミッション — 快適さの維持・進化・創造 —

対談

女性の健康



積み上げてきたもの ～快適さの維持・進化・創造～

1959年、個人企業豊興業所として発足。
豊興業株式会社を経て、2019年には、創業から60周年という節目を迎え社名をユタコロジ株式会社としました。
私たちには快適空間の創造という使命のもと、歩み続けた歴史があります。その歴史を、積み上げてきたもの、大切にしてきたことと共に振り返り、いま新たなステージを目指してまいります。

区役所勤務での衛生管理の経験を活かし、創業準備

- 1959年 ・ 個人企業豊興業所として発足
ビル・建物の清掃受託開始
- 1973年 ・ ビルメンテナンス会社として
豊興業株式会社を設立

大切にしてきたこと

世のため 人のため

1950年代～1980年代



かんきょうまもる
「わたしの絵手紙」制作(2000年)

大切にしてきたこと

社会貢献・ 環境への取組み 物販機能

1990年代～2000年代

- 1991年 ・ 社内報「ゆたかのたより」発刊
(社員教育・情報共有)
- 2000年 ・ かんきょうまもる
「わたしの絵手紙」制作
- 2001年 ・ 社員教育の場として金山研修センター
を新設
- 2003年 ・ ISO14001 認証取得
- 2004年 ・ 名古屋市エコ事業所認定
- 2004年 ・ エコ事業部設立により光触媒施工、エコ洗剤等のサービス及び商品スタート
- 2005年 ・ 「愛・地球博」清掃協働企業体による清掃業務受託

2019年「ユタコロジ株式会社」へ社名変更

豊興業株式会社 旧社名ロゴの三つ葉は、現在のロゴと同じ「豊かな心」「共に」「未来へ続くストーリー」を表しています



人々のために(誠実)=ブルー、技術を伝播し(挑戦)=オレンジ
わくわく感を共創する(共感創造)=グリーン
3つのコンセプトカラーを円(調和・永遠)で表現

大切にしてきたこと

SDGs宣言・ 脱炭素 製造物販機能拡充

2020年代～

- 2020年 ・ SDGs宣言と事業再定義
- 2020年 ・ コロナ蔓延により、除菌消毒業務と、衛生関連商品の拡充展開
- 2021年 ・ 名古屋市SDGsグリーンパートナーズ優良エコ事業所認定
- ・ あいちCO2削減マニフェスト2030シングルスター認定
- ・ 脱炭素チャレンジカップ協賛開始
- 2022年 ・ 椋山女学園大学とカレンダー制作協働プロジェクト発足
- ・ ユタコロジ-公式YouTubeチャンネル開設・SNS運用開始
- ・ Femtechフレームワーク作り
- ・ BCP策定開始

大切にしてきたこと

省エネ・ エコ事業推進

2010年代～



2016年、クリーンクルーが集合した方針発表会



CSR環境レポート制作(2014)

- 2011年 ・ カーボンオフセット導入
- 2014年 ・ 会社ロゴ制作(三つ葉)
- 2014年 ・ CSR環境レポート制作
- 2015年 ・ 社外報「Continue」発行
- 2016年 ・ エコチューニング事業者認定
ビルメンテナンスができる低炭素(Co2削減)スキーム提供開始
- 2019年 ・ 名古屋市優良エコ事業所認定
- 2019年 ・ ユタコロジ株式会社へ社名変更(新ロゴ制作)



名古屋市SDGsグリーンパートナーズ「優秀賞」受賞(2021年)



椋山女学園大学と協働で
コラボカレンダー制作(2022年)

ミッション — 快適さの維持・進化・創造 —

当社が積み上げてきたもの、それはお客様に支えられながらビルメンテナンスができることの追求であったのだと思います。人々の「快適さ」について言えば、技術の発達や生活スタイル、環境の変化により、その意味も広さ・深さ・高さの点で進化かつ多様化しています。そこでこの度、ユタコロジのミッションを「快適さの維持・進化・創造」とし、ビルメンテナンスができること、ユタコロジだからできることを更に追求してまいりますので、今後ともご愛顧の程何卒宜しくお願い申し上げます。

ユタコロジ株式会社 代表取締役 酒井秀京



対談

ゆうあいグループ 代表取締役

丹波麗子様



ユタコロジー株式会社 代表取締役

酒井秀京

テーマ

女性の健康

丹波麗子様
ゆうあいグループ 代表取締役
居宅や訪問の介護事業など5法人を運営し利用者への
トータル(総合的)介護を提供。
新たな時代に対応すべく自身も令和3年に准看護師資格を取得。



2025年問題を抱え、超高齢化社会にある現在の日本において、今後一層の成長が期待される介護業界。

当社の主要事業であるビルメンテナンス業界もまた、シニア世代が活躍するという面で

共有すべき点が多くあります。対談第二回となる今回は、『女性の健康』をテーマに、

ゆうあいグループ代表取締役 丹波麗子様にお話を伺いました。*文中写真ゆうあいグループ様提供

介護とビルメンと女性

酒井 本日はお忙しい中このような機会をいただきありがとうございます。

介護業界とビルメンテナンス業界は「女性活躍」という言葉が一般的になる前から自然と女性が多い業種であると思います。

ゆうあいグループ様ではどのような方が活躍されているのでしょうか。

丹波 昨今の社会問題として2025年問題があり、社会インフラという点で今後一層大きな役割を担う業界であると考えています。

従業員の9割は女性で、最高齢は90代の方も元気に働いてくれています。

酒井 当社もシニアの方々が活躍して下さっていて官公庁からもお褒めいただくこともしばしばあるのですが、最高齢が90代というのはまた素晴らしいですね。

丹波 ゆうあいグループでは在宅・訪問介護、デイサービスを提供しているのですが、90代の従業員は其中で看護師をしていています。特に介護は体力が必要な仕事ですからいつまでも若い方と同じ仕事をするというのは現実的に難しいとは思いますが、定年を過ぎても働ける環境を意識的に作っていくのが大切だと思います。

酒井 ポジティブシンキングで、シニアの方たちにも活躍してほしい。最近当社でフェムテック(女性のWELL-BEINGに寄与する技術や商品)の研究もしていますが、更年期、ポスト更年期(老年期)の方々にとって、心身の健康の維持という観点からも、働く環境や活躍できる場というのは大切だと感じます。

丹波 そうですね。特に永く働いてきてくださった経験は何物にも代え難い財産ですから、ご本人さんが健康で働きたい!と思われるうちはお勤めいただけるような会社でありたいと考えています。

酒井 私も同意見です。お客様へのサービス提供を永年続けてきた経験は、とても重要なスキルですし信頼もありますね。一方で働き手の確保という面で、男性の採用は積極的に行っているのでしょうか。

丹波 性別や国籍による雇用機会の均等が世の中の大きな流れとなっていますが、特に当社のような在宅型サービスでは入浴介助や着替えが業務にあるため、利用者さん(サービスの受け手)としてはやはり女性でないと恥ずかしいという感情がおありのようです。特に男性の応募を断っているわけではないですが、業界としてのイメージから女性に活躍いただきやすい条件が揃っていると思っています。



現役看護師として活躍する女性は90代(左)

酒井 ビルメンテナンスも同様に、女性用トイレに男性の清掃員が入るのはNGですので、女性の方が必然的に多いのが現状です。その逆に日本では女性が男性トイレに入ることは許されていますが、そういう価値観も将来は変わってくるのかもしれない。

女性のWell-Being(心身の健康)



利用者の皆さんと野菜を収穫する女性職員(右)

酒井 「女性が多く働いている」と「女性が活躍できている」とはイコールではないかと思うのですがいかがでしょうか。

丹波 そうですね。女性はライフステージによって様々な問題に直面しますが、分かりやすい例で言えば妊娠・出産・育児・介護ですね。

仕事を長期で休まなければならない、中には辞めなければならない方もまだまだいらっしゃいます。当社ではもちろん育児・介護休暇をしっかりと取得してもらいその後職場復帰してもらえるよう環境作りをしています。必ずしも全員に当てはまるわけではありません。

酒井 私自身、フェムテックについて、最近色々な場所で講演の機会もいただくようになりましたが、その反応をみると、私自身もそうかもしれませんが、現実的には、歴史的に積み上げられてきた社会的文化的価値観もあるし、家族やその方の生活環境もあり、繊細な問題であるが故に難しいことを痛感しています。

丹波 個人で対応すべきことももちろん多くありますが最終的には職場のサポート、もっと言えば人間関係の中で相互に助け合っていくことが必要になりますから、職場の雰囲気・環境作りは本当に大事にしています。

普段から仲良くすることはもちろんですが、上司部下の定期面談は重点的に行い、部下から積極的に相談できる関係構築を意識してもらっています。細かい福利厚生はあるに越したことはないですが働きやすい職場環境があることが大原則だと考え、この関係を壊すような言動をする従業員には厳しく指導しています。

酒井 ゆうあいグループさんの高い復職率はそういった取り組みが実を結んでいるんですね。

丹波 単に人手不足だから、という理由ではなく、皆さんがやりがいを持って働いてくれる会社でありたいと思っています。

「つながり」をつくる

酒井 人手不足という観点で言えば、我々も介護業界と同様に「労働集約型」と言われるビジネスモデルですがDX化やロボットがあれば解決するという事ではないですよね。

丹波 はい、利用者さんと触れ合い直接感謝の言葉や表情をいただけることが仕事のやりがいになっている従業員も多いので、すべてデジタルやロボットに置き換わってしまうと従業員、利用者さん双方にとって良くないのではと思います。

酒井 「仕事のやりがい」は非常に大きなテーマで、お客様から直接ありがとうを言っていただけることで喜びややりがいを感じます。

最近若い人でウーバーイーツの配達員の方が増えていますが、勿論経済的動機もありますが、ありがとうと言われる充実感や喜びも一つの動機になっていると聞いたことがあります。

丹波 本当にそうですね。コロナ禍で最近では出来ていないですが、以前は「家族会」を開催していました。利用者さんとそのご家族を招待し、いつも担当してくれている介護士がみんなで演劇や歌などの出し物する会なのですが、在宅介護で普段は外出の機会のない利用者さんにも年に1回、この日はご家族と外出していただいて特別な日になってもらえればなど。社員は練習や準備に大変ですが、利用者さんをはじめ皆さん本当に楽しんでくれて、事業所ごとの競争心などもありとても盛り上がるんです。まさに、ひとの「つながり」を感じられるイベントでした。

酒井 丹波社長はペットブリーダーもされているんですね。

丹波 はい。ただ、ブリーダーは意図した事業ではなく、デイサービスにお越しいただく利用者さんで認知症の方も一定数いらしたので何か喜んでいただけることはないかと探しているときにペットセラピーが出来ないかと勘案したものでした。

認知症の方もそうでない方も、やはり愛おしい動物と触れ合うと心が動くものですからやって良かったと思います。

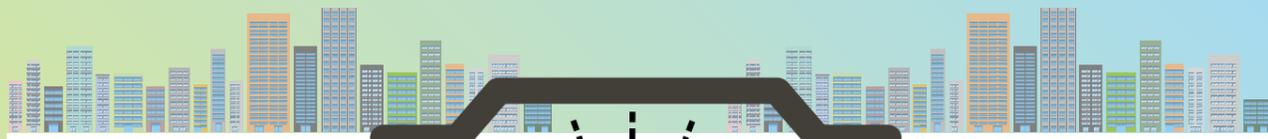
酒井 本日は、誠にありがとうございました。



施設でのドッグセラピーの様子。利用者さんも思わず笑顔に

～対談を終えて～

人との「つながり」、そこから生まれる喜びを提供する【場】を創造されていて、当社の快適環境の創造、ともつながる部分があると感じました。当社と事業内容は違いますが、お客様のために、また関わる人々のための様々な試行と実践はとても共感しました。今後も丹波社長と切磋琢磨していきたいと思っています。 酒井秀京



ユタコロジーのビルメンテナンス

新たな取り組み

ユタコロジーは「快適空間創造×環境改善の見える化×SDGsでつながる」をテーマに、あらゆる建物、施設の資産価値を維持するビルメンテナンスを提供しています。

これまで設備管理や衛生管理、防災対応やバリューアップの提案によって、快適さ、生産性や効率性の向上、コスト削減など、お客様にとっての快適な空間づくり・環境改善を実現してきました。

さまざまなメンテナンスの中から、新たに取り組んだ2例をご紹介します。

CASE 1 岐阜県内某大学キャンパス内 施設管理

【業務内容】 ■大学構内の建物清掃(日常清掃、定期清掃、特別清掃) ■用務員業務 ■宿直業務

FM
事業部部長より
コメント

キャンパス内はとても広く、また、お客様が一番気にされるトイレの数が多いので、業務の段取りがポイントになります。秋から冬、春先にかけては落ち葉も多く定期的な見回りが必要で、さらに講義が終わった後の教室清掃も必須です。的確に進行するよう365日の業務の配分バランスを気を付けながら、大学関係者皆様の快適さを維持、進化、創造しています！

CASE 2 IPM (Integrated Pest Management=総合的病害虫管理)

【業務内容】

- 害虫(ゴキブリ、ムカデ、蜘蛛、蜂)、害獣(ネズミ、鳩、コウモリ)の防除および制御施工
- 大量のフンや巣を作られてお困りのお客様へ効果的な施工の実施
- 除草(雑草管理により有害生物の発生を抑えます)

Integrated(インテグレート)とは「総合、統合」を意味し、Pest(ペスト)は、病名の「ペスト」がよく知られますが、このほかに「有害生物全般」という意味があります。IPMは、有害生物の活動を、人の生活を害さないようさまざまな防除手段を適切に組み合わせて管理する技術です。

IPM管理システム 事前調査→利用可能な全ての防除策を組み合わせる



生物的防除

環境的防除

物理的防除

化学的防除

害虫の生息密度を経済被害の生じるレベル以下に抑える



ユタコロジー
SDGs

NEWS 01

ヒヤリ・ハット受賞①—クリーンクルー館さん(安全標語)受賞—



(左から)竹内様、館さん、坂野様

JERA 川越火力発電所様にて安全標語募集があり、クリーンクルー館 様子さんの作品が受賞しました。

(安全標語)

「安全作業を徹底し!無事に帰ろう 明るい我が家」

1月31日(火)表彰式があり、川越火力発電所長 坂野様、安全専任 竹内様より記念品を授与されました。

＜当社担当部長より＞

昨年3月の設備異常報告による社外表彰に続き、今回標語での表彰を頂くこととなりました。館さん、いつも清掃をしていただき心より感謝いたします。

ヒヤリ・ハット受賞②—アルバイト梶田さん(ヒヤリ・ハット事例)・クリーンクルー神谷さん(標語)受賞—



2月15日(水)名古屋国際会議場で行われた労働安全衛生大会にて表彰されました。

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会にて募集された労働安全衛生作品について、業務グループアルバイトの梶田さん、ウインズ名古屋クリーンクルー神谷さんの作品が受賞しました。

氏名	受賞部門	受賞作品
梶田 基比古	「私のヒヤリ・ハット」事例の部	※下記参照
神谷 春子	標語の部	迷うなら見とこやっつこ 安全確認

＜私のヒヤリ・ハット事例＞—業務グループアルバイト—梶田基比古

どこで オフィスビル

何をしている時に 送風機のコードをエレベーターで他の階に運んでいる時

何にヒヤリ・ハットしたか 送風機のコードをエレベーターの扉に挟み、そのままエレベーターが発進しそうになった。

その原因は? コードをしっかりと束ねていなかった。コードの状態を確認しないまま、エレベーターの扉を閉めてしまった。

今後防ぐための改善対策は? エレベーターの扉を閉める際は、物の挟み込みがないか、をよく確認する。万が一を考え、扉を閉めてから移動する階のボタンを押すようにする。





なごや環境大学にて講演

1月20日(金)、代表取締役 酒井がなごや環境大学にてオンライン講演を行いました。
 テーマは「SDGsの取り組みについて—SDGs経営とその周辺—」。受講者は、これから「なごやグリーンパートナーズ」の認証を目指す企業の担当者様です。
 当社が2021年に「なごやSDGsグリーンパートナーズ優秀賞」を受賞したことから、講演のご依頼をいただきました。酒井は1時間にわたり講演。受賞理由となった当社のSDGsの取り組みについて、またそこに至るまでの経緯やその中での苦労、課題の解決策などを、これからSDGsに取り組まれる企業様目線に沿ってお伝えしました。
 特に、SDGs=脱炭素というイメージがある中で、サービス業である当社がなぜSDGsに取り組んだのか、そこから生まれたものは何か、についてお話しした項目は、大変好評をいただきました。



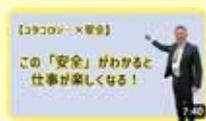
YouTube公式チャンネルスタート!



ユタコロジーのYouTube公式チャンネルがスタートしました。
 お客様に当社を身近に感じていただく、また情報発信と共有によって、クリーンクルースタッフやアルバイトの皆さんをはじめ社内のベクトルをひとつにしていく目的があります。現在のトップメッセージ発信に加え、今後は〈クルー向け清掃マニュアル〉など、コンテンツを拡充予定です!

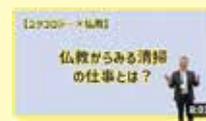
【ユタコロジー×安全】

この「安全」がわかると
 仕事が楽しくなる!



【ユタコロジー×仏教】

仏教からみる
 清掃の仕事とは?



2023年
 コラボカレンダー
 制作報告



※YouTubeで
 「ユタコロジー」と
 検索!



SNS(Instagram)スタート!

ユタコロジーの最新情報をアップしています。ぜひご覧ください!



ユタコロジー
 総務発信
 Instagram



ユタコロジー
 新規事業
 Instagram



ユタコロジー株式会社

〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町4-48
 tel 052-851-0077
 e-mail info@yutacology.co.jp
 URL https://yutacology.co.jp

